

令和 7 年 7 月 18 日

課 名 地域政策局

平和推進プロジェクト・チーム

担当者 担当課長（平和推進担当）山本

内 線 2365

「国際平和のためのユース対話イベント」の開催について (被爆・終戦 80 年「若者たちが集い、未来に平和をつなぐプロジェクト」)

1 要旨

被爆 80 年を迎える重要な節目に、若者が主役となって国連幹部などの世界を牽引するリーダーとの対話を通じて、核兵器廃絶などへの議論を深めるとともに、「平和な世界」を実現するためのロードマップを世界に向けて発信するため、「国際平和のためのユース対話イベント」を開催する。

2 現状・背景

被爆及び国連創設から 75 年となる 2020 年 8 月 6 日に、国連機関との共催イベントとして第 1 回を開催。今年で 6 回目となる。

3 イベント概要

(1) 開催日

令和 7 年 8 月 6 日(水) 14:30～16:00

(2) 場所

ANA クラウンプラザホテル広島 3 階 オーキッド
(広島市中区中町 7-20)

(3) 実施主体

広島県/へいわ創造機構ひろしま(HOPe)
国連訓練調査研究所(UNITAR)、国連軍縮部(UNODA)

(4) テーマ

被爆 80 年の今、広島から世界へ若者が提案する 核兵器廃絶・平和への道

(5) 次第

- ・ 開会
- ・ 主催者挨拶（県・HOPe 及び UNITAR）
- ・ プログラム紹介
- ・ 高校生とゲストによるグループワーク
- ・ 各グループワークで討論したロードマップを発表
- ・ 聴衆者からの質問、コメント
- ・ 各ゲストからの講評
- ・ 閉会
- ・ 集合写真

(6) 参加者

ア グループワーク参加者 約 30 名(高校生)
(UNITAR 広島青少年大使^(※)及び県・HOPe・UNITAR の平和人材育成事業の
修了生で構成)

※UNITAR が 30 名程度の県内高校生を募集し、今回の対話イベントを含む計 6 回の
ワークショップを通じて、平和で持続可能な国際社会づくりに貢献していく取組。

イ 傍聴者約 50 名(高校生及び大学生)

(7) ゲスト ※敬称略

- | | |
|--------------------|-------------------------------|
| ・ (調整中) | 国連幹部 |
| ・ レジス・サビオ | 赤十字国際委員会(I C R C) アジア大洋州地域局長 |
| ・ 後東 利治 | 被爆者 |
| ・ ファンデルドゥース・ルリ | 広島大学平和センター大学院人間社会科学研究科准教授 |
| ・ 湯崎 英彦 | 広島県知事・へいわ創造機構ひろしま(H O P e) 代表 |
| ・ ミシェル・ジャイルズ=マクドノー | 国連事務次長補兼国連U N I T A R 総代表(司会) |

4 イベントのライブ配信

- ・ 8月5日～9日に設置される大阪・関西万博広島県ブースにおいて、当イベント開催時間に当イベントの映像をライブ配信する。※英語音声での配信
- ・ Youtube によるオンラインライブ配信を、英語音声及び日本語同時通訳音声それぞれのチャンネルを作成し、実施する。

5 使用言語

英語・日本語(同時通訳)

6 記者会見の開催

県・H O P e とU N I T A R との共同記者会見を、7月29日(火) 10:00～10:30 に実施し、当イベントの詳細やゲスト等の発表を行う。

7 予算(単県)

3,244 千円(H O P e への負担金)

8 参考

被爆・終戦80年特設ウェブサイト(国際平和のためのユース対話イベント)

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/peace80/action-dialogue-event.html>